

# 磐城時報

編輯 石城郡平町新屋町十四  
印刷 石城郡平町新屋町十四  
電話 石城郡平町新屋町十四  
發行所 石城郡平町新屋町十四  
電話 石城郡平町新屋町十四  
廣告料 一行十文字五錢  
印刷 一行十文字五錢  
電話 石城郡平町新屋町十四

## 思ひ出の垂柳

### 平青年團で奔走して 第一小學校に移植

#### 農業倉庫

平青年團の柳五本は既報の如く五圓二十錢で平町堀井氏に譲渡されたが、同柳は磐城小學校の前身である組合小學校時代に植えたもので今日まで四十年間同校に學んだ人々數千名が懐かしい思ひ出のよすがとして町に農業倉庫を開設する事になった。倉庫は平町堀井氏一畝地を石造倉庫を昭和六年七月一日から十月六月間同賃貸借をする事になった。

## 山崎與三郎氏に 紀念品贈呈

石城販賣利用組合では前組合長山崎與三郎氏に對し紀念品として金盃一對を贈る事となった。重氏着任した。

## 天候不順による 石城地方稻作被害

石城郡農會では天候不順による生じた外平町長崎町地内に黄斑稻作被害状況について過般來各委縮病が発生し、大野村、錦村、町村技術員と協力し詳細に調査等にも同病蔓延の兆あり、好間町では十五日衛生局長の選舉を組織する事になり會則役員を決定した。同日磐城小學校庭で練習日曜日の兩日磐城小學校庭で練習

十六日には又高久村の水田數町歩の稻が發育全く不良で分蘗を見ず、田植當時そのまゝの稻であるから實地檢分の上應急處理を講じて貰ひ度いと願ひ出で、來たので柴田技師直ちに急行し、たが、その他石城郡内にはかうした稻の被害頗る多い様様で憂慮されてゐる。

## 田町の町道を 坪二十圓で特買願

### 價格が安いので考慮

平町田町佐川重喜氏は隣接してある安齊外科醫院前道路四十二坪を八百四十圓で拂下げをうけたいとの町役場に願ひ出でたが、價格が安いので町當局で考慮中である。

## 若林警部補赴任

平警察署から小濱警部補派出所へ榮轉した若林警部補は十六日午前八時五十分平警署列車で赴任したが、官民多數の見送りがあつた。

## 紺屋町區長決定

平町紺屋町では十四日區會を開き區長に關し喜久次郎氏、代理に水竹泰助氏當選した。

平町野球同好者十數名は十五日習を行ひ折を見て遠征を試みる。役員並に選手左の如くである。

## 坑内で瓦斯爆發

### けさ古河炭礦の椿事 二名死亡三名輕傷を負ふ

十六日午前七時二十分頃石城郡好間村古河炭礦新坑坑口から六千尺の左九五五附近で瓦斯爆發し作業中であつた先山夫川に至つたが、これに伴ひ農産物も増加して來たのでこれを賣さばく上において統一機關が無い状態なので、今回町農會が市場を開設して生産品價低落を防ぐこととなり折角準備中だが、九月上旬頃までに開場する見込みである。

## 小名濱野菜市場

小名濱町は商港工事着工以來人口順に増加し一萬を算せられるに至つたが、これに伴ひ農産物も増加して來たのでこれを賣さばく上において統一機關が無い状態なので、今回町農會が市場を開設して生産品價低落を防ぐこととなり折角準備中だが、九月上旬頃までに開場する見込みである。

## 波立薬師の 道路政修工事

双葉郡久遠町では常盤線の名勝地である波立薬師に至る道路改修の計劃をたてゝるが、同町消防組第三部(江の網)で工費三百八十圓を授け工事に着手した。來る七月二十八日、二十九日の縁日大祭までには完成の豫定である。

## 濱立薬師の 道路政修工事

石城郡農會主催濱立薬師講習會は十六日から五日間小名濱小學校に開催中であるが、受講者五十名である。

## スケッチ展覧會

磐城小學校文會では十七日、十八日二日間晝夜平町四丁目マールホテルで東京美術學校出身坂本孝正氏の復興帝都スケッチ展覧會を開く。

## 貯金通帳偽造犯人 懲役一年半を求刑

去る五月十六日五十錢の郵便貯金通帳を千五百圓と改竄し取扱喜市の兩名に依頼し詳細なる報告印鑑を盗用し平郵便局から千告をなさしめる事になった。四百五十圓を詐取しやうとして発見された元平郵便局員平町胡澤一四番地本籍青森縣中津輕郡野田村字外ヶ崎生れ阿保俊助(三三)に係る文書詐欺事件の公判は十六日午前十時から平支部中島裁判長係り市川檢察立會官選千葉辯護士出廷の上開廷された。俊助は裁判長の訊問に對し全部犯行を承認したので市川檢察は懲役一年半を求刑した。

## 不良團長 兩ひ窃盜

既報不良少年三名が窃盜團を組織し平町白銀町鐵道官舎大島恒介方外數ヶ所を襲ひ現金貴金屬等を窃取し平署に捕はれた。團長内郷村大字宮字竹の内市川一雄(十七假名)外二名は平檢事局に於て起訴猶豫となつて釋放されたが、一雄はその後内郷村方面で手當り次第窃盜を働らいてゐる事が判つたので十五日午後十二時頃井上巡査が高坂坑長屋附近で捕え平署で取調中であるが、過般釋放された後既に二十數件の窃盜を働いた事を自白した。

## 郷士の野球隊 平俱樂部組織さる

平町野球同好者十數名は十五日習を行ひ折を見て遠征を試みる。役員並に選手左の如くである。

幹事石川友次郎、井坂久吉、熊謙次郎、國井孝道、水竹伊之助  
選手(安) 澤坂野藤田坂川野田井谷内  
小井小佐織石石小織國神坪熊  
捕遊一 二三左中右

## 漁夫か萬引

石城郡小名濱町宇古港漁夫茨城縣那珂郡港町生れ櫻井淺次郎(五〇)は去る七日午後八時同町宇古港小野吳服店から反物五反十二日午後九時頃同町下明神町伊關吳服店出張店から反物二反を萬引し同町小野クラに賣却し、平署に檢舉された。

## 行衛不明の畫家

伊達屋から通信 水戸市上市柳小路畫家中村邦彦事村順四郎(三三)は去る六月末家を出たまま行衛不明になつたので捜索中であつたが、六月三十日平郵便局の消印のある葉書が平町白銀町伊達屋旅館方から届いたので十六日平警察署に捜索方を願ひ出でた。

## 石城地方の 米生産費調査

石城郡農會では石城地方に於ける昭和六年度米生産費を調査す為身柄を拘引した。

## 罰金を納めぬ 平町

月見町生れ當時住所不定無職草野清二郎(三四)は過般賭博罪により平區裁判所で罰金二十圓に處せられたが、納付せぬので平署で身柄を拘引した。

### 酌婦上りの 繼母を虐待

石城郡神谷村大字鎌田大工職野口善作(四二)は此程平町南町飲食店小山某方の酌婦アツ子(三二)を落籍し夫婦となつたが、之を見た長男米作(二二)が憤慨し善作と口論の上毆打したので平署で取調べをなした事既報の如であるが、十五日は次男を合せ一家四人で喧嘩を始めフクを散々毆打したので平署で取調中である。

### 國寶人形劇 平町に開催

東京家元結城孫三郎の人形劇は近く平町に開催する由であるが同劇は世界に誇る國寶的藝術と謳はれてゐるもので前人氣を博してゐる。

### 鼻の薬 チクノール 平五 山野邊藥局

東京府下驛澤町賣藥長谷川敏雄(三〇)外二名は去る九日から平町二丁目大村屋旅館に滞在宿料二十五圓を踏倒して十三逃走したので館主は平署に訴え出でた

### 平町人事

▲婚姻  
沖繩縣八重山郡竹富村船生卷太郎(四四)柳町山崎トキ(三八)、古銀治町宮本利助(五一)東京市下谷區金杉下町野野ミサ(五一)

▲出生  
柳町加藤隆四郎長女加藤幸子  
搔堀小路八木澤徳三郎四男成男、立町吉田松吉三女フミ子

### 用生學小 トンマ水防

空の月六い近雨  
學通御の々日の方様供子おのヤルツす必はに  
……をトンマ水防誂別  
良純の質ムゴ立仕な全完  
命生い近に倍三の品製通普

ムゴ面片	尺	二
錢十四圓一	寸二尺二	
錢十六圓一	寸四尺二	
錢十八圓一	寸四尺二	
ムゴ中	尺	二
圓	寸二尺二	
錢十三圓二	寸四尺二	
錢十五圓二	寸四尺二	

ヤルツ  
〇四一電 四年



輯三十四第ス一ユニ竹松  
子智美江大・門衛太右川市  
**陣宿無州上**

◆いさ下用利御券賣前◆

館平日六十替

三二年の感覺を完全に把握した近代無比の名篇  
東京日日新聞連載  
原作・加藤武雄 **銀河**  
高田 稔・八雲恵美子・川崎弘子  
オールスタースターキヤスト  
前二部十卷篇  
全部上演

## 開院 難波醫院

醫學博士 難波 睦  
(入院需に應ず 自炊の便あり)  
看護婦至急募集

### 開業廣告

私儀今般五月五日より左記箇所に醫院を開業耳鼻咽喉科診療に従事可致候間將來何分の御後援に預り度く御挨拶旁々御願ひ申上候 敬白

診療科目  
耳鼻咽喉科 專門  
氣管、食道科 專門

平町字南町一(元真木辯護士跡)  
**増田耳鼻咽喉科醫院**  
本日醫學士増田之

ゲーム取一名  
見習一名  
右至急募集ス  
磐城國平町田町六九  
ピリヤード一の井  
電話一六七番

**胃腸** 內科 專門  
十二指腸病 胃性病 腸病  
村松 町南町平  
(七〇一話電)

**梅毒** 婦淋病 皮膚病 專門  
院醫科  
(七〇一話電)

鹽豚販賣  
田町三二三屋

三陽製藥株式會社  
久之濱新妻治郎  
平町販賣店  
山野邊藥局

來ませ!!! 來ませ!!!  
緑の酒に  
唄ふのよ……ホガラカに  
高鳴る胸の  
リズムの……夢を  
歡樂の殿堂  
皆様のカフエー  
松ヶ岡

醬油と味噌  
**合**  
福島縣平町  
山崎合名會社  
電話(營業部専用)一〇番  
(一般用)二七番  
振替東京一九七五五番

君はい、型の洋服を求められたね。眺だね? いや君コレは四丁目マルトモビル停車場で販賣中のソレ正札堂と

ルビモトルマ目丁四  
堂札正

內科 小兒科  
花柳病科  
藤沼醫院  
(入院應需)  
電話平町紺屋町  
電話平町五〇七番